

令和3年度

# 年報



AZUMINO CITY TOYOSHINA LOCAL MUSEUM

安曇野市豊科郷土博物館



# 目 次

## I ようこそ安曇野市豊科郷土博物館へ 博物館の概要..... 3

- 1 開館からの略歴
- 2 当館の目指すところ
- 3 令和3年度・活動方針
- 4 施設の概要
- 5 令和3年度予算
- 6 入館者数と内訳

## II 企画した展覧会及び関連事業 ..... 5

- 1 企画展・友の会展・特別展
- 2 講座・学習会
- 3 出前講座
- 4 博物館見学
- 5 昔の暮らし体験教室
- 6 友の会活動

## III 写真でたどる年間活動 .....12

- 1 企画展
- 2 友の会展
- 3 特別展
- 4 こたつ講座
- 5 ワークショップ・講座
- 6 出前講座
- 7 博物館見学
- 8 昔の暮らし体験教室
- 9 友の会の活動
- 10 その他

## IV 新市立博物館出前展示 .....18

## V 学芸員実習の受け入れ .....20

## VI 調査研究・広報活動への取り組み .....20

## VII 収蔵している資料の整理 資料の活用に向けて .....21

## VIII 新たな収蔵資料 .....21

## IX 当館に寄せられたみなさまのご意見 利活用者からみる外部評価..... 22

- 1 アンケート回答者に見る入館者内訳
- 2 夏季企画展
- 3 春季企画展
- 4 昔の暮らし体験教室 in 博物館
- 5 今後やってほしい展示・活動

## X 博物館のこれから .....27

表紙写真：上：夏季企画展「殿様と庶民の満願寺」のギャラリートーク  
下：昔の暮らし体験教室 in 博物館

## 1 開館からの略歴

昭和54年4月	多くの文化遺産の継承を使命とする生涯学習の場として豊科郷土博物館が開館しました。翌年、登録博物館になりました。以来、収蔵している自然・歴史・民俗・芸術等の資料を収蔵展示するとともに、各種企画展示を開催してきました。友の会を核とした活動も活発に続いています。
平成17年10月	5町村の合併により安曇野市が誕生しました。当館は財団法人による指定管理のもと、市唯一の博物館としての活動を継続してきました。
平成24年4月	安曇野市の直営施設となり、市の主要文化施設として文化の発信と地域に根付いた活動を行い現在に至っています。平成25年度、屋根とトイレを改修し常設展示を替えて、平成26年3月のリニューアルオープンを経て、平成29年3月、4年ぶりのリニューアルオープンを行いました。
平成27年11月	安曇野市新市立博物館構想策定委員会で検討策定された新市立博物館構想が安曇野市長への提言として示されました。新規建設される市立博物館の基本的内容が明示され、それを受けた市は15～20年後の新博物館開設を発表しました。平成28年、新市立博物館準備室も豊科郷土博物館内に設置されました。

## 2 当館の目指すところ

郷土安曇野の自然・歴史・民俗を対象に庶民の生活にかかわる資料の収集・収蔵・管理に努め、それらの資料の調査研究を行い、その研究成果を展示することを心がけています。展示は人々の心と生活の豊かさに寄与するとともに、新たな文化創造に向けた土壌作りも目指しています。併せて、活動する博物館として生涯学習の場を提供し推進することも大切な目標とします。

自然と人々の営みが生み出した安曇野の文化を市民とともに「守り」「育て」「創る」という新市立博物館構想の基本理念に沿った活動を心がけます。

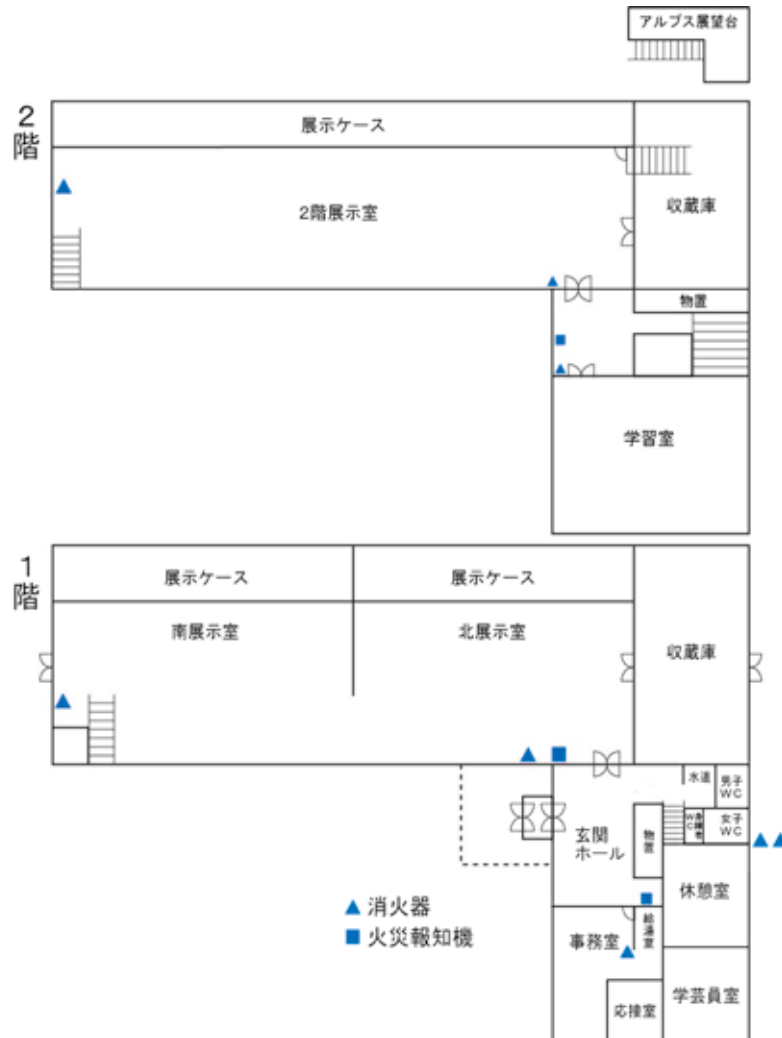
## 3 令和3年度・活動方針

安曇野市の基幹総合博物館として、新市立博物館構想の方向と連携を保ちながら、以下の方針で進めました。

- ◆市民の教育と文化の向上と輝かしい未来を創造する力を培うため、新市立博物館建設準備室、市文書館、穂高郷土資料館、市文化財資料センター等の関係機関との連携をし、様々な活動を創意工夫しながら博物館の研究成果を広く市民に還元していくことが必要です。これらの取り組みの着実な推進によって、市民にとって魅力ある博物館になるよう努めます。
- ◆このような理念に基づいて博物館活動を行うため、貴重な資料の収集、その資料に基づく精緻な研究、その成果としての展覧会の開催、さらに市民に情報を提供する教育普及活動などの諸活動を積極的に行います。

## 4 施設の概要

- 敷地面積 2,016㎡
- 建物（鉄筋コンクリート造2階建）面積 747㎡（延床面積 1,020㎡）
- 平面図



## 5 令和3年度予算

総額 約25,570千円

本年度は企画展解説パネル等製作費・研究紀要等刊行物印刷費・施設修繕費・機器リース料・電気代等光熱費・人件費等に使われています。

## 6 入館者数と内訳

入館利用者総数	8,310人	（令和2年度数	6,884人	対前年度比率	120.7%）
有料入館者数	1,559人	（令和2年度数	1,465人	対前年度比率	106.4%）
児童生徒入館者数	1,501人	（令和2年度数	1,049人	対前年度比率	143.1%）

## Ⅱ 企画した展覧会及び関連事業

### 1 企画展・友の会展・特別展

#### (1) 企画展

No.	展覧会名	開催期間 日数	場所	入館者数
	安曇野市制施行15周年記念春季企画展 「安曇野の外来動植物さんぽ～身近な自然から 学ぶ～」(令和3年3月20日～5月23日) (松田 貴子)	4月1日(木)～5月23日(日)46日間	企画展示室	1,078
1	「満願寺の古文書」 市指定文化財指定記念 夏季企画展 「満願寺展Ⅱ 殿様と庶民の満願寺」 (逸見 大悟・宮本 尚子・原 明芳)	7月22日(木)～10月10日(日)69日間	企画展示室	1,385
2	第38回白鳥写真展	2月5日(土)～3月6日(日)25日間	企画展示室	595
3	春季企画展「八面大王と田村麻呂 ーその原点 へ、魔道王登場ー」(原 明芳)	3月19日(土)～3月31日(木)11日間	企画展示室	234

入館者合計 3,292

#### (2) 友の会展

No.	展覧会名	開催期間 日数	場所	参加者
1	第36回山草・サクラソウ展	5月3日(月)～5月5日(水)3日間	学習室	117
2	第35回写真展・第16回ボタニカルアート展	7月4日(土)～7月26日(日)20日間	企画展示室	343
3	第18回絵手紙展・第5回戦時生活展	11月14日(土)～11月24日(日)14日間	企画展示室	339
4	第67回書芸展・第3回着物リメイク展	1月16日(土)～1月31日(日)17日間	企画展示室	452

参加者合計 1,251

#### (3) 特別展

No.	展覧会名	開催期間 日数	場所	参加者
1	拾ヶ堰絵図公開	5月28日(金)～5月30日(日)3日間	学習室	286

参加者合計 286

### 2 講座・学習会

#### (1) 企画展関連講演会・講座(博物館学習室を定員50名⇒20名に入場制限)

No.	講座名	開講日	講師	場所	参加者
1	「外来植物を楽しむスワッグづくり」 (春季企画展講座)	4月17日(土)	伊沢 和子 (ドライフラワー作家)	博物館学習室	15

No.	講座名	開講日	講師	場所	参加者
2	「自然への扉を開き、つながりを深める－インタープリテーションの役割－」 (春季企画展特別講演会)	4月24日(土)	増田由香子 (獨協大学講師)	豊科交流センター きぼう	47
3	「野鳥観察会」 (春季企画展観察会)	5月8日(土)	丸山 隆 (元日本の野鳥の会会長)	水色の時道祖神～ 早春賦の碑周辺	15
4	「植物観察会」 (春季企画展観察会)	5月15日(日)	松田 貴子 (豊科郷土博物館職員)	明科犀川周辺	11
5	「昆虫観察会」 (春季企画展観察会)	5月22日(日)	那須野雅好(文書館職員)	明科御宝田周辺	13
6	「幸せな死、不幸せな死」 (夏季企画展講座)	7月31日(土)	倉石あつ子 (豊科郷土博物館職員)	博物館学習室	22
7	ギャラリートーク (夏季企画展)	8月1日(日)	原 明芳 (豊科郷土博物館長)	企画展示室	3
8	太子堂物語上映会 (夏季企画展)	8月9日(月)		博物館学習室	33
9	現地見学会 (夏季企画展)	8月22日(日)	原 明芳 (豊科郷土博物館長)	満願寺周辺	15
10	「なぜホトケムカエなのか」 (夏季企画展講座)	8月28日(土)	宮本 尚子 (豊科郷土博物館職員)	博物館学習室	15
11	ギャラリートーク (夏季企画展)	9月20日(月)	原 明芳 (豊科郷土博物館長)	企画展示室	3
12	「松本平の観音霊場」 (夏季企画展講座)	9月25日(土)	原 明芳 (豊科郷土博物館長)	博物館学習室	19
13	「満願寺をめぐる“殿様”たち」 (夏季企画展講座)	10月9日(土)	逸見 大悟 (教育委員会文化課)	博物館学習室	41
14	ギャラリートーク (春季企画展)	3月20日(日)	原 明芳 (豊科郷土博物館長)	企画展示室	13

参加者合計 265

## (2) 主催講座・イベント

### ①こたつ講座

No.	講座タイトル	開講日	講師	場所	参加者
1	「描かれた日本アルプス 江戸から明治へ」	11月27日(土)	林 誠 (長野県立歴史館)	博物館学習室	13
2	「機を織ること 衣生活を考える」	12月4日(土)	宮本 尚子 (豊科郷土博物館職員)	博物館学習室	7

参加者合計 20

\*当初7回を予定していたが、新型コロナウイルス感染防止のため3～7回は次年度夏に延期。

## ②ワークショップ

No.	講座タイトル	開講日	講師	場所	参加者
1	博物館講座 大麦の虫かご作り	6月20日(日)	矢口健陽児 (元穂高郷土資料館職員) 宮本 尚子, 窪田 尚幸 (豊科郷土博物館職員)	鐘の鳴る丘 集会所	大人10 小人3
2	裂き織体験会	10月10日(日)	博物館友の会 自然と暮らしの文化部	鐘の鳴る丘 集会所	大人6 小人2
参加者合計					21

## ③夏休み子ども講座

No.	講座タイトル	開講日	講師	場所	参加者
1	勾玉作り	8月4日(水) ～6日(金)	豊科郷土博物館職員	博物館駐車場	大人1 小人4
2	藍の生葉染め	8月8日(日)	博物館友の会 自然と暮らしの文化部	鐘の鳴る丘 集会所	大人10 小人19
3	切り絵で楽しもう	7月31日(土) ～	豊科郷土博物館職員	博物館ロビー	大人16 小人33
4	藍の葉のたたき染め	8月15日(日)			大人16 小人30
参加者合計					129

## ④昔の暮らし体験教室 in 博物館

No.	講座タイトル	開講日	講師	場所	参加者
1	昔の暮らし体験教室in博物館 (豊科北小・明北小・豊科東小)	2月26日(土)	豊科郷土博物館職員	豊科郷土博物館	大人11 小人19
2	昔の暮らし体験教室in博物館 (穂高南小・豊科南小)	2月27日(日)	豊科郷土博物館職員	豊科郷土博物館	大人15 小人10
3	昔の暮らし体験教室in博物館 (三郷小・穂高西小・明南小)	3月5日(土)	豊科郷土博物館職員	豊科郷土博物館	大人14 小人22
4	昔の暮らし体験教室in博物館 (堀金小・穂高北小)	3月6日(日)	豊科郷土博物館職員	豊科郷土博物館	大人21 小人35
参加者合計					147

## 3 出前講座

### (1) 学校関連

No.	講座タイトル	開講日	講師	場所・参加校	参加者
1	穂高西小学校 クララ草木染め	6月2日(水) ～4日(金)	宮本 尚子, 窪田 尚幸 (豊科郷土博物館職員)	穂高西小学校	大人23 小人198
2	ちくに生きものみらい基金自然観察会 堀金小学校3年生	6月9日(水)	松田 貴子 (豊科郷土博物館職員) 斉藤 雄太, 幅 拓哉, 那須野雅好 (教育委員会文化課)	長峰山	大人4 小人83

No.	講座タイトル	開講日	講師	場所・参加校	参加者
3	豊科北中学校 2学年総合学習	6月10日(木)	原 明芳, 倉石あつ子, 窪田 尚幸 (豊科郷土博物館職員) 斉藤 雄太 (教育委員会文化課)	豊科北中学校	大人3 小人38
4	豊科北中学校 2学年総合学習	6月17日(水)	原 明芳, 倉石あつ子, 松田 貴子 (豊科郷土博物館職員) 斉藤 雄太 (教育委員会文化課)	豊科北中学校	大人2 小人38
5	三郷セルフ(三郷中1年)	6月25日(金)	原 明芳 (豊科郷土博物館長)	三郷民俗資料館	大人3 小人36
6	豊科北中学校 2学年総合学習	7月8日(木)	原 明芳, 松田 貴子 (豊科郷土博物館職員)	豊科北中学校	大人2 小人38
7	三郷セルフ(三郷中1年)	7月9日(金)	原 明芳 (豊科郷土博物館長)	三郷民俗資料館	大人4 小人72
8	豊科北中学校 2学年総合学習	7月12日(月)	原 明芳, 松田 貴子, 倉石あつ子 (豊科郷土博物館職員)	豊科北中学校	大人2 小人38
9	穂高東中学校 平和学習 「有明演習場について」	7月14日(水) ・15日(木)	原 明芳 (豊科郷土博物館館長)	穂高東中学校	大人10 小人166
10	豊科南中学校3年 総合歴史グループ 「安曇野の戦争について」	7月16日(金)	原 明芳 (豊科郷土博物館館長)	豊科南中学校	大人2 小人14
11	ちくに生きものみらい基金自然観察会 堀金小学校4年生	9月21日(火)	松田 貴子 (豊科郷土博物館職員)	県営烏川溪谷緑地	大人4 小人72
12	ちくに生きものみらい基金自然観察会 堀金小学校1年生	10月6日(水)	松田 貴子 (豊科郷土博物館職員)	国営アルプスあ づみの公園	大人1 小人11
13	穂高西小学校 地域探検クラブ	11月2日(火)	宮本 尚子 (豊科郷土博物館職員)	穂高西小学校	大人1 小人13
14	豊科東小学校 地域体験学習	12月3日(金)	窪田 尚幸 (豊科郷土博物館職員)	豊科東小学校	大人12 小人24
15	豊科高校3年生 A講座地理B選択 信州学 「安曇野の食文化」	12月14日(火)	倉石あつ子 (豊科郷土博物館職員)	豊科高校	大人4 小人34
16	三郷セルフ(三郷中1年) 「昔の災害が今にどうつながるか」	12月17日(金)	原 明芳 (豊科郷土博物館長)	豊科郷土博物館 (リモート)	小人2
17	三郷セルフ(三郷中1年) 「安曇野の歴史について」	12月17日(金)	原 明芳 (豊科郷土博物館長)	豊科郷土博物館 (リモート)	大人2 小人5
18	三郷セルフ(三郷中1年) 「三郷の地域の衣食住がどのように変 わったのか」	1月7日(金)	原 明芳 (豊科郷土博物館長)	豊科郷土博物館 (リモート)	小人4

参加者合計

965



## (2) 一般向け

No.	講座タイトル	開講日	講師	開催場所	参加者
1	堀金公民館講座「コロナ禍が変えた葬式 ー生活と人生儀礼を考えるー」	4月19日(月)	宮本 尚子 (豊科郷土博物館職員)	堀金公民館講堂	大人30
2	平和憲法を活かす安曇野の会 「安曇平の戦跡巡り」	5月8日(土)	原 明芳 (豊科郷土博物館長)	有明演習場跡等	大人17
3	諏訪市 湖南村誌講座・湖南公民館 講座「諏訪の古代」	6月6日(日)	原 明芳 (豊科郷土博物館長)	諏訪市湖南公民館	大人47
4	里山トレッキング講座 ～乗鞍高原滝めぐり～	6月11日(金)	松田 貴子 (豊科郷土博物館職員)	乗鞍高原	大人19
5	安曇系譜を語る会講座 古代の安曇野	6月26日(土)	原 明芳 (豊科郷土博物館長)	明科公民館講堂	大人53
6	ふるさと講座2 鳥居峠天然林	7月15日(木)	松田 貴子 (豊科郷土博物館職員)	木祖村鳥居峠	大人16
7	安曇野 戦争と平和展 広島・長崎原爆パネル展 安曇野の戦争パネル展 解説会	7月17日(土) ・18日(日)	原 明芳 (豊科郷土博物館長)	安曇野市役所 ロビー	大人55
8	三師会 堀金小・中合同研修会 「安曇野の入り口は？」	7月28日(水)	原 明芳 (豊科郷土博物館長)	堀金中学校	大人39
9	明科三校研修会 「明科を知り、教材として生かそう」	7月29日(木)	松田 貴子 (豊科郷土博物館職員)	長峰山	大人40
10	安曇野市教育会実技講習会	7月30日(金)	松田 貴子, 窪田 尚幸 (豊科郷土博物館職員)	黒沢洞合自然公園	大人24
11	安曇野市教育会実技講習会	7月30日(金)	逸見 大悟 (教育委員会文化課)	豊科郷土博物館	大人21
12	中堀地区の歴史を知る会・堀金公民館 「安曇野を開いた人々と拾ヶ堰の文化」	8月1日(日)	原 明芳 (豊科郷土博物館長)	堀金公民館講堂	大人47
13	豊科公民館講座 出会い・ふれ合い・ 生きがいセミナー 「私を浄土に連れてって」	8月6日(金)	原 明芳 (豊科郷土博物館長)	豊科公民館	大人14
14	豊科公民館講座 出会い・ふれ合い・ 生きがいセミナー 「観音様にすがる」	9月3日(金)	原 明芳 (豊科郷土博物館長)	豊科公民館	大人22
15	日本景観生態学会第31回信州大会エ スクカーション「長峰山紹介」	9月4日(土)	松田 貴子 (豊科郷土博物館職員)	Zoom会議	大人70
16	日本景観生態学会第31回信州大会公 開シンポジウム 「信州の現場から自然と景観を紡ぐ」	9月5日(日)	松田 貴子 (豊科郷土博物館職員) 那須野雅好 (文書館職員)	Zoom会議	大人110
17	明科公民館講座 明科の宝partVII 「明科の宝と寺院」	9月14日(火)	原 明芳 (豊科郷土博物館長)	明科公民館講堂	大人45
18	ガールスカウト自然環境体験活動 植物観察	9月21日(日)	松田 貴子 (豊科郷土博物館職員)	穂高牧地区周辺	大人8 小人6
19	中堀地区の歴史を知る会・堀金公民館 「安曇野の自然を映し出す屋敷林」	10月2日(土)	松田 貴子 (豊科郷土博物館職員)	堀金公民館講堂	大人28

No.	講座タイトル	開講日	講師	開催場所	参加者
20	市民会議主催 森林エリア植物学習会	11月6日(土)	松田 貴子 (豊科郷土博物館職員)	烏川溪谷緑地 森林エリア	大人25
21	堀金のお宝発見講座 「食べる一食べられる～野鳥と植物が つながる生命の営み～」	11月15日(月)	松田 貴子 (豊科郷土博物館職員)	堀金公民館講堂	大人26
22	郷土巡回展連動企画展講演会 「林学博士白沢保美～森林をめぐる 時代背景と植物の世界～」	12月18日(土)	松田 貴子 (豊科郷土博物館職員)	三郷図書館	大人22
23	国営アルプスあづみの公園 三九郎	2月6日(日)	宮本 尚子 (豊科郷土博物館職員)	国営アルプスあ づみの公園	大人50 小人 4
24	屋敷林フォーラム	2月20日(日)	松田 貴子, 窪田 尚幸 (豊科郷土博物館職員)	穂高交流学习セ ンターみらい	大人62
参加者合計					900

## 4 博物館見学

### (1) 学校関連

No.	団体名	開講日	講師	場所・参加校	参加者
1	豊科北中学校科学部	5月18日(火)	松田 貴子・倉石あつ子 (豊科郷土博物館職員)	豊科郷土博物館	大人 1 小人26
2	穂高西小学校草木染体験	7月9日(金)	宮本 尚子・窪田 尚幸 (豊科郷土博物館職員)	豊科郷土博物館	大人 5 小人18
3	渋谷教育学園渋谷中学校2年生	10月6日(水)	原 明芳・窪田 尚幸 (豊科郷土博物館職員)	豊科郷土博物館	小人 6
参加者合計					56

### (2) 一般向け

No.	団体名	開講日	講師	場所・参加校	参加者
1	松本市城北公民館	4月15日(木)	原 明芳 (豊科郷土博物館長)	豊科郷土博物館	大人18
2	松本大学社会科 教員免許取得生	6月11日(金)	倉石あつ子, 宮本 尚子 (豊科郷土博物館職員)	豊科郷土博物館	大人86
3	三師会(堀金小・中合同研修会)	7月28日(水)	原 明芳, 宮本 尚子 (豊科郷土博物館職員)	豊科郷土博物館	大人32
4	安曇野市教育会実技講習会	7月30日(金)	逸見 大悟 (教育委員会文化課)	豊科郷土博物館	大人21
参加者合計					157

## 5 昔の暮らし体験教室

(新型コロナウイルス感染拡大のため、講師が出向いての各学校での「昔の暮らし体験教室」を行うことができなかった。令和2年度に作成したDVDと民俗資料(説明資料も付けて)の貸出を実施し、学校の先生が自分で授業ができるように支援した。)

No.	講座タイトル	開催日	講師	場所・参加校	参加者
1	市内各小学校 「昔の暮らし体験教室」	1月20日(木) ～ 2月25日(金)	DVDと資料の貸出	市内各小学校 (10校中8校)	大人20 小人571

参加者合計

591

## 6 友の会活動

No.	講座名	会員数	活動回数	参加延べ人数	1回平均	企画展	
1	書道部	16	44	505	11.5	1	
2	絵手紙部	25	17	273	16.1	1	
3	着物リメイク部	11	19	157	8.3	1	
4	植物画部	20	16	240	15.0	1	
5	山草部	10	6	41	6.8	1	
6	写真部	6	(各自の活動)				1
7	戦時生活部	10	13	67	5.2	1	
8	自然と暮らしの文化部	34	15	149	9.9		
9	植物調査部	15	22	124	5.6		
10	郷土史部	25	8	71	8.9		
11	タカラさがし部	67	7	342	48.9		

参加者合計

1,969

- ※1 役員会・総会1回(4月15日)
- ※2 会報発行3回(No.122～124)
- ※3 美化活動1回(7月29日)参加者16名
- ※4 視察研修 中止

### Ⅲ 写真でたどる年間活動

#### 1 企画展

##### ①「満願寺の古文書」市指定文化財指定記念夏季企画展「満願寺展Ⅱ 殿様と庶民の満願寺」

###### ◆展示風景



###### ◆企画展講座



###### ◆企画展現地見学会



###### ◆企画展ギャラリートーク



##### ②第38回白鳥写真展

###### ◆展示風景



### ③春季企画展「八面大王と田村麻呂 -その原点へ、魔道王登場-」

#### ◆展示風景



#### ◆企画展講演会 牛山佳幸 信州大学名誉教授 『八面大王伝説』成立の歴史的背景をめぐって



#### ◆企画展講座 原明芳「八面大王は誰か -『信府統記』の魏石鬼、魔道王、田村麻呂-



#### ◆企画展現地見学会①



#### ◆企画展現地見学会②



## 2 友の会展

### ◆第36回山草・サクラソウ展 (山草部)



### ◆第16回ボタニカルアート展 (植物画部)



### ◆第35回写真展 (写真部)



### ◆第18回絵手紙展 (絵手紙部)



### ◆第5回戦時生活展 (戦時生活部)



### ◆第67回新春書芸展 (書道部)



### ◆第3回着物リメイク展 (着物リメイク部)



### 3 特別展「拾ヶ堰絵図公開」



### 4 こたつ講座

◆林 誠 長野県立歴史館学芸員  
「描かれた日本アルプス 江戸から明治へ」



◆宮本尚子「機を織ること 衣生活を考える」



### 5 ワークショップ・講座

◆大麦の虫かご作り



◆裂き織体験会



◆昔の暮らし体験教室 in 博物館



6 出前講座

◆中学校地域学習支援



◆小学校クラ草木染め体験学習支援



7 博物館見学

◆市内小学校見学



◆市内中学校見学



8 昔の暮らし体験教室（新型コロナウイルス感染拡大のため、資料の貸出のみ実施）





## 9 友の会の活動（友の会展発表以外の部）

### ◆郷土史部による地域巡検



### ◆植物調査部による調査および植物学習会や標本作製



### ◆自然と暮らしの文化部によるからむし繊維取り体験や柿渋作り



### ◆タカラさがし部による地域探検



## 10 その他

### ◆博物館の窓辺の緑のカーテン



### ◆収蔵資料の燻蒸



## IV 新市立博物館出前展示

博物館では新市立博物館準備室が中心となって、平成28年度からテーマをコンパクトにまとめた出前展示を行っています。令和3年度は以下のようなテーマで展示を行いました。

事業	実績
安曇野の春の訪れⅡ～桜の世界～	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会期：4月1日（木）～4月30日（金）</li> <li>・日数：30日</li> <li>・会場：ほりで一ゆ～四季の郷</li> </ul>
『鐘の鳴る丘』と主題歌『とんがり帽子』	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会期：4月1日（木）～5月13日（木）</li> <li>・日数：37日</li> <li>・会場：三郷交流学習センター</li> </ul>
こんなに変わったんだ農機具	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会期：4月6日（火）～4月25日（日）</li> <li>・日数：17日</li> <li>・会場：貞享義民記念館</li> </ul>
疫病退散 見えないものを追い払う	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会期：5月1日（土）～6月30日（水）</li> <li>・日数：61日</li> <li>・会場：ほりで一ゆ～四季の郷</li> </ul>
生きものの決定的瞬間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会期：5月11日（火）～7月9日（金）</li> <li>・日数：44日</li> <li>・会場：明科中学校</li> </ul>
七ターそのロマンと現実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会期：7月1日（木）～8月11日（水）</li> <li>・日数：42日</li> <li>・会場：ほりで一ゆ～四季の郷</li> </ul>
困った生きもの～ぼくらの無愛想な隣人たち～	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会期：7月16日（金）～8月25日（水）</li> <li>・日数：35日</li> <li>・会場：穂高交流学習センター</li> </ul>
疫病退散 見えないものを追い払う	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会期：7月9日（金）～9月16日（木）</li> <li>・日数：47日</li> <li>・会場：明科中学校</li> </ul>
虫っておもしろい!昆虫のゆかいな色・形	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会期：8月11日（水）～10月3日（日）</li> <li>・日数：54日</li> <li>・会場：ほりで一ゆ～四季の郷</li> </ul>

事業	実績
多元主義社会を生きる～自由主義擁護の旗手清澤瀏～	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会期：5月9日（日）～8月31日（日）</li> <li>・日数：95日</li> <li>・会場：文書館（前期企画展）</li> </ul>
五つの心をひとつに	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会期：9月6日（月）～10月20日（水）</li> <li>・日数：45日</li> <li>・会場：三郷公民館ロビー</li> </ul>
困った生きもの～ぼくらの無愛想な隣人たち～	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会期：9月17日（金）～10月17日（日）</li> <li>・日数：26日</li> <li>・会場：三郷交流学習センター</li> </ul>
江戸時代を生きる～出来事を記録する古文書～	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会期：9月5日（日）～12月28日（火）</li> <li>・日数：96日</li> <li>・会場：文書館（後期企画展）</li> </ul>
秋の七草～千年の時を超えて～	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会期：9月16日（木）～11月24日（水）</li> <li>・日数：46日</li> <li>・会場：明科中学校</li> </ul>
生きものの決定的瞬間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会期：10月4日（月）～11月30日（火）</li> <li>・日数：58日</li> <li>・会場：ほりで一ゆ～四季の郷</li> </ul>
多元主義社会を生きる～自由主義擁護の旗手清澤瀏～	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会期：10月19日（火）～11月25日（木）</li> <li>・日数：30日</li> <li>・会場：中央図書館</li> </ul>
疫病退散 見えないものを追い払う	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会期：10月26日（火）～11月4日（木）</li> <li>・日数：10日</li> <li>・会場：教育会郷土文化財センター</li> </ul>
困った生きもの～ぼくらの無愛想な隣人たち～（総合学習・データ利用のみ）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会期：10月7日（木）</li> <li>・日数：1日</li> <li>・会場：松本市立会田中学校</li> </ul>
困った生きもの～ぼくらの無愛想な隣人たち～	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会期：11月24日（水）～1月28日（金）</li> <li>・日数：40日</li> <li>・会場：明科中学校</li> </ul>
みえる水、みえない水～安曇野を巡る地下水の秘密～	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会期：12月1日（水）～1月26日（水）</li> <li>・日数：43日</li> <li>・会場：穂高交流学習センター</li> </ul>
安曇野の特産物～今昔～	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会期：11月30日（火）～1月31日（月）</li> <li>・日数：63日</li> <li>・会場：ほりで一ゆ～四季の郷</li> </ul>
来た道、忘れ去られた感染症	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会期：1月28日（金）～3月22日（火）</li> <li>・日数：33日</li> <li>・会場：明科中学校</li> </ul>
白井吉見 その人、その言葉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会期：1月31日（月）～3月31日（木）</li> <li>・日数：60日</li> <li>・会場：ほりで一ゆ～四季の郷</li> </ul>
みえる水、みえない水～安曇野を巡る地下水の秘密～	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会期：2月16日（水）～3月24日（木）</li> <li>・日数：31日</li> <li>・会場：三郷交流学習センター</li> </ul>

## V 学芸員実習の受け入れ

本年度の当館での学芸員実習の受け入れは1名でした。

展示概論として常設展示や企画展示の解説を行いました。また関連施設(資料館・文化財資料センター・文書館等)の見学や館の事務業務・友の会活動などについても学びました。実習生1名であり、専攻が自然に関連する分野であったことから、屋敷林の調査・市の自然環境保全調査の参加や学芸員が関わった日本景観生態学会信州大会への聴講参加などもあり、幅広い内容となりました。実習のまとめとしては、博物館が提示したテーマ「安曇野市豊科郷土博物館が果たすべき役割について整理し・分析し、現状を踏まえて今後の改善に向けた提案を行う」について発表しました。地域博物館の活動事例や、抱えている課題や可能性などについて、自身の調査や実習で得た体験に基づいて考察し、発表することができました。



## VI 調査研究・広報活動への取り組み

当博物館では、安曇野市内の自然や歴史、文化の価値をさらに深め、また新たな価値を見出ししていくために、調査研究を進めています。これらの成果は、博物館紀要や企画展を通じて広く安曇野市内外の皆様にお伝えしています。令和3年度の紀要第9号では、4つの研究報告と、3つの活動報告がなされました。このような調査研究活動は、展示・講座などの博物館活動を支え、市民の学習・研究活動の支援につながっています。

自然分野では、この調査研究をもとに明科・長峰山の山頂草原に毎年6月下旬の草刈りを関係団体(行政、地元住民、市民団体等)とともに実施し、草原生態系の保全に寄与しています。

また館内外の活動を広く市民の方々に周知するために、企画展示が行われたり、講演会が行われたりするたびに、新聞・放送関係をはじめとする広報活動を行ってきました。

ホームページでのお知らせ、市の広報誌等を利用した広報活動も頻繁に行っております。また、平成29年度から始めた出前展示を今年度も行い、公民館・学校等の要請を受け、本年度も出前展示を貸し出して多くの方々に見ていただきました。



安曇野市教育委員会所蔵の民俗資料は、旧三郷民俗資料館、旧堀金歴史民俗資料館、穂高郷土資料館、穂高文化財資料センター（旧明科歴史民俗資料館収蔵資料）、豊科郷土博物館に収蔵されています。そのうち、豊科郷土博物館2階収蔵庫に収蔵している民俗資料を整理しました。目的は、今後の活用をスムーズにするための資料の状態と所在の確認です。



博物館収蔵の民俗資料の多くは寄贈から年月が経過しており、資料の状態や所在の確認はされていませんでした。そのため、活用にあたって資料がどこにあるかを探すことから始めなければなりませんでした。

整理作業は、展覧会スケジュールの合間を縫って行いました。2階展示室が広く使える状態にし、いったん、収蔵庫の資料をすべて展示室に運び出し、分類ごとに並べました。

整理作業の手順は、新たに作成した資料タグを付与、収蔵庫の清掃と資料のクリーニング、写真撮影、分類ごとに番号をつけた棚へ収蔵としました。

資料の所在と状態はデータベースへ入力し、活用がスムーズになりました。

今後も、資料整理作業を継続していきたいと思います。

※ 2021年度の民俗資料整理の詳細は『安曇野市豊科郷土博物館 紀要9号』にて報告しておりますので、そちらをご覧ください。

## Ⅷ 新たな収蔵資料

- ・民俗学関連書籍 2,946冊（個人）
- ・『太子堂物語』DVD（世田谷区教育委員会）
- ・民俗資料
  - イグサ製蓑 2点（個人）
  - ちまきてぬぐい 1点（個人）
  - 木製学生服用ボタン 1点（個人）
  - トウモロコシ脱粒機 1点（個人）

- ・自然資料
  - 植物標本 740点



太子堂物語 DVD

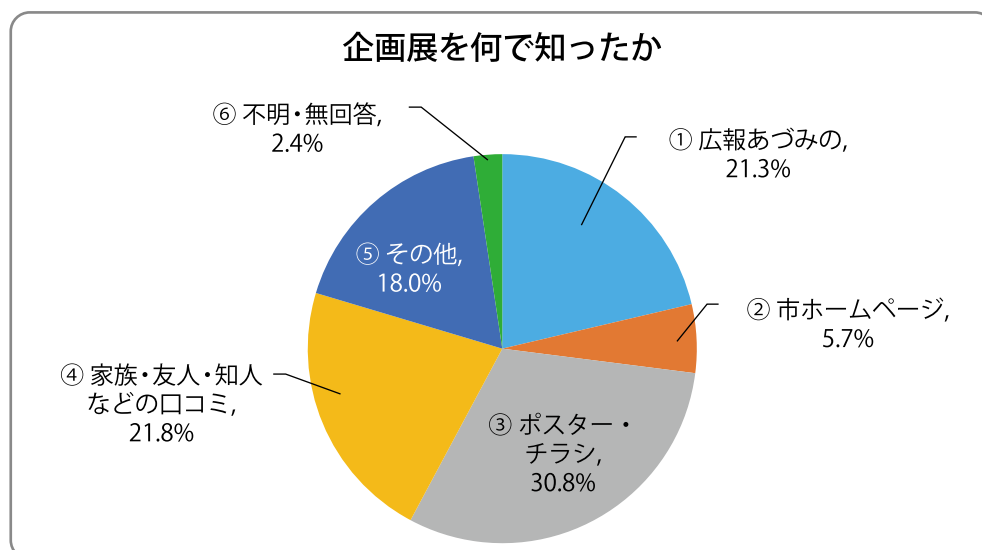
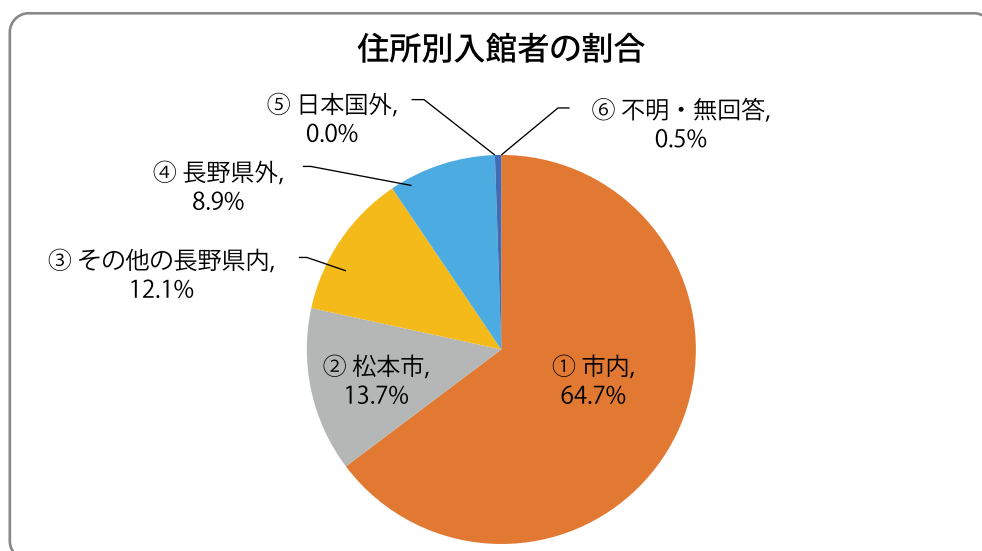
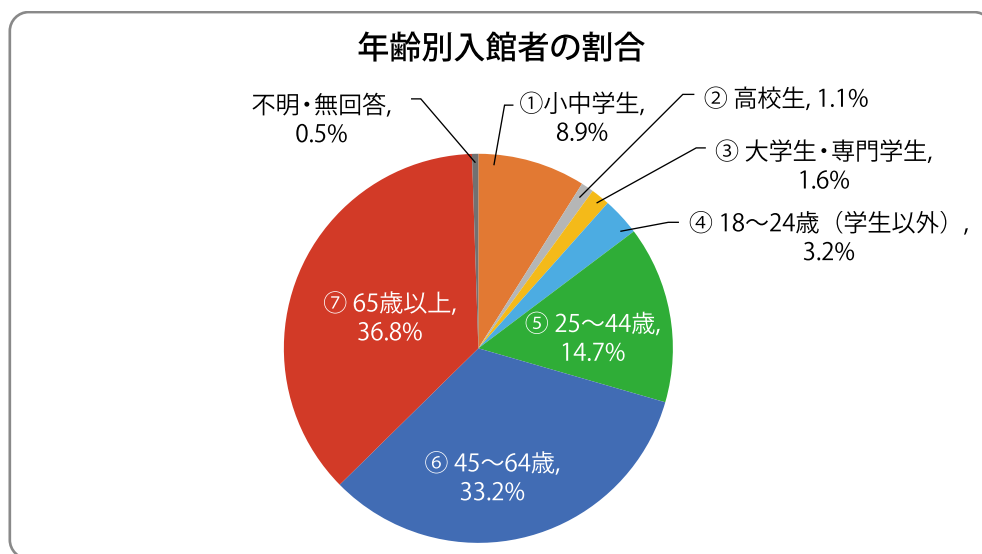


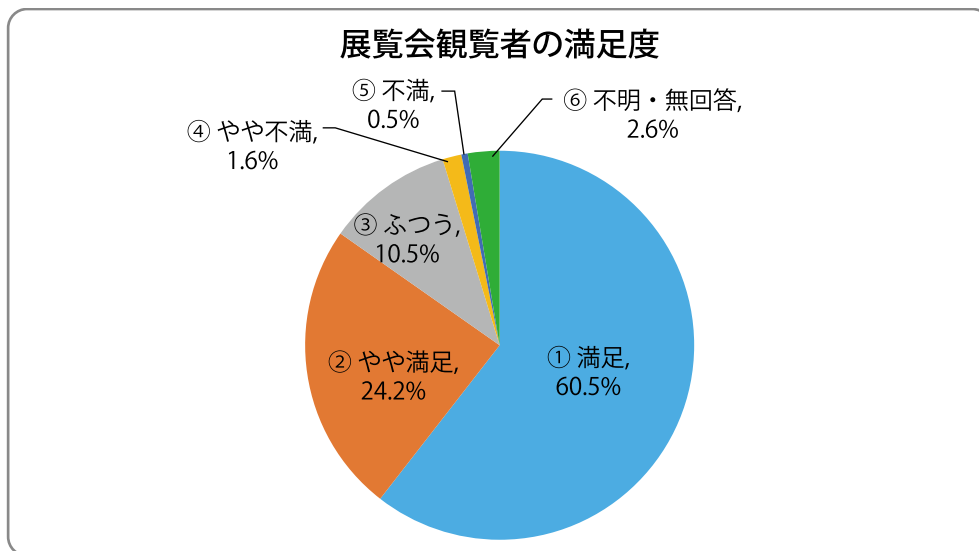
トウモロコシ脱粒機



植物標本

## 1 企画展アンケート回答者に見る入館者内訳（夏季・春季）





## 2 夏季企画展「満願寺展Ⅱ 殿様と庶民の満願寺」 主な感想より

- 地元の歴史がよく調査され、とても興味深いです。そんな地元から中央を見直すと、人々の動きや時代の広がりを感じます。
- 小規模ながら信州人の精神世界が直接伝わってきました。現代のお盆の行事は形式化してしまっている事を考えさせられました。
- 満願寺に有名な人の手紙があることと満願寺はとても有名だということが分かった。
- 片方が“殿様”もう片方が“庶民”という展示のしかたがおもしろいと思いました。“庶民”の方をもう少し見応えあるものにして下さるとバランスよくなるようにも思いました。天井の電飾、よいアイデアですね。(もう少し低くても…難しいでしょうか。)
- 毎回、着眼点の面白さにひかれて見に来ております。名前しか知らなかった満願寺の役割について学ぶことができ、地域への理解が深まりました。
- とても心なごむ展示でした。
- 民俗の風習が薄れている中で、たいへん貴重な展示であると思う。今後も様々な視点から昔の人の暮らしというものとふれて展示されてほしい。
- 子どもが大学生になり、二人で来ました。豊科の小・中学校を卒業しましたが、その頃に社会科見学などで来れば良かったなあと思います。身近なところにこんな所があるとは思いませんでした。
- 貴重な史料が多く展示されており、小・中・高時代にも一度訪れていればよかったと感じるほど学びに役立つ展示があり満足した。
- 現代を生きる者としては、昔の事を知ることができ、そして懐かしい満願寺の展示物を見ることができ、大変嬉しかったです。詳しく説明文もあり、また、時系列も分かりやすく、昔、思っていた満願寺とまた別の満願寺を知ることができて嬉しかったです。
- 満願寺でホトケムカエなることが行われていたのは知らなかったが、そのことについてもよく分かった。そして、満願寺に行く機会があったら今日学んだことも意識しながら見に行きたいと感じた。
- 豊科在住です。満願寺へ行ったことがありませんでした。今度行ってみたいです。
- 満願寺展の前期も見に来させていただいたので、後期も来てみたが、水野家の事など家系図も

あたりし、理解するのに苦勞せずに楽しく見ることができました。また、イラストを用いて分かりやすくなっていたので面白くてよかった。「満願寺展」本当に面白く勉強になり、郷土について一つでも詳しく知れてよかったです！ 今後も期待しています。

- ・満願寺のことがよく分かりました。老中までなったすごい人が訪れていたことは初めて知りました。
- ・展示が前期と後期に分かれているとは知りませんでした。後期しか見られませんでした。こちらに来て、初めて知りました。どちらかという、前期を見たかったです。もっと広報などではっきり示してほしいかったです。
- ・大変良い企画で満足しました。ただ、現訳文の展示位置が見つらなかった。改善願いたいです。

### 3 春季企画展「八面大王と田村麻呂—その原点へ、魔道王登場—」 主な感想より

- ・八面大王伝説が泉小太郎伝説にまでつながるとは知りませんでした。それも有明の方だけの話ではなく、松本平全域にまでかかわる大きな地域で語られていたことも知りませんでした。八面大王を神様と呼ぶ地域があったり、鬼として恐れる地域があったりと色々な意見があると思い、おもしろかったです。
- ・八面大王の展覧会で、今まではメインの田村麻呂と八面大王の話しか知らなかったのですが、魔道王や、神社があった話、あと小泉小太郎のお話とからんでいるのを面白く見させていただきました。地元から見ると、外からの田村麻呂の討伐で、八面大王寄り？ で話をみてしまっていたのですが、本当のところはどうだったのかなーと、やっぱり色々な角度から歴史を見て、一方的な視点で見ないと真実は見えないなとも思い、深く考えさせられました。詳しい資料で今日は勉強になりました。ありがとうございました。
- ・八面大王、泉小太郎が身近ですので、楽しく拝見しました。古地図も信府統記も読んでみたいと思いました。
- ・八面大王の伝説は知っていたが、伝説ではなく、資料から多角的な読み取りが展示されていて、大変勉強になった。身近な神社や寺院との関係性を知ることもできた。
- ・年代が異なる絵図を比較検討しているところが興味深く、その史料を所蔵元の各博物館などから借り、実際に眼前で比較できるようにしてあるところがとても良かったです。今回の展覧会のように八面大王伝承を多角的に、また専門的に取り上げられたものを観ることは初めてでとても興味深く観覧することができました。
- ・神話的な伝承と今も残る地名や塚、古地図などが関係付けられ、今住んでいる安曇野の歴史の奥行きのようなものを改めて感じさせていただけました。
- ・八面大王の伝説は安曇野を語る上で欠くことのできないもので、地域に根ざした博物館の役割を十分に発揮できた展覧会だと感じました。季節ごとの展覧会をここまで多く実践している博物館は松本平ではここだけだと思いますので、これからも楽しみにしております。
- ・少ない資料をよく掘り起こしたなあと感心、感動。絵図が興味深かった。
- ・鬼伝承3種を比較したパネルが理解しやすい作りで良かったです。
- ・田村麻呂に倒された八面大王はアテルイのような存在だったのかなくらいのイメージでしかありませんでしたが、川の氾濫から村を守る神だったとは、新しいイメージが増えて。八面大王すごいと思いました。
- ・毎回研究の蓄積の上、平易な表現で伝わる展示で面白い。伝説を伝説としてだけでなくとらえよう



とするのが面白い。

- ・八面大王は謎が多く、関心をもっていました。今回企画展があることをたまたまチラシで知り、是非と思い参りました。仕事で九州にいたこともあり、八面＝八女、有明など、地名で結びつきそうなものも多く、安曇族の話もあいまって、非常に興味深く思っています。またこの様な企画があれば、足を運びたいと思います。
- ・信府統記の口語訳があり、分かりやすかったです。古絵地図も現代の地図に対応して下さったので場所も分かりやすかったです。八面大王の物語は民話などで知っておりましたが、朝廷に対しては敵とみなされて悪者のイメージが先行していますが、郷土の民にとっては果たしてどのような存在だったのかと考えさせられました。
- ・展示会場でどのように展示物を見て回るか、おすすめのコースを矢印で示していただけると幸いです。私は博物館の展示に慣れていないので、専門家の方がおすすめする回り方をすることで、より良い展示への理解ができました。
- ・展示内容の歴史上仕方無いとはいえ、現物の展示ももう少し見たかった。
- ・展示してある文章にもっと読み仮名をつけてほしい。読み方がわからないというだけで理解度がかなり浅くなってしまいます。
- ・転居（1980年）してすぐ八面大王の民話を知り、関心を持ちました。以来、機会ごと本なども読んできましたが、そのうち「安曇族」と八面大王の伝説とかなり関わりのある説も興味を持っています。今回の企画その角度からの事柄はありません。次回穂高神社や安曇族の関わり、歴史・伝承・史実など企画していただきたいです。今回の企画もこの中信平一帯の広域のものとなりました。
- ・安曇で最大の伝説と言える八面大王だが、現在の子どもたちはどの程度まで知っているのだろうか。今回の企画は期待していたが、古地図や古文書の展示に主が置かれ、八面大王とはなんぞや？と言った事が掘り下げられていないように思う。もちろん記録に残る以外は何の事実も表す訳ではないので、しかたない事と思うが、せっかく地元の伝説であるので、子どもが見ても伝説を感じられる展示が、よかったのではないか。確認できる事実を並べても、今一つ面白味がない。中島先生の「安曇野に八面大王は駆ける」といった本もあり、企画としてもっと掘げる事のできるテーマだと思う。
- ・「八面大王」の大王を「だいおう」と読んだ歴史は「おおきみ」からで、坂上田村麻呂のエゾ征伐（東北38年戦争）の折、地方勢力の長（オサ）に対する別称であったと思われるが、違和感はぬぐえない。私的感想では八面大王とは安曇の郡司で、作物の不作によって年貢が納められず国司に願い出たが、朝廷は許さず副使の坂上田村麻呂が討った。ところが坂上田村麻呂は都に戻ってから日本最古の天皇家の歴史書古事記の序文に神々の話がある中に綿津見神のことを「この神は安曇連（むらじ）の祖である」と突然一般人の名が書かれていた事を思い出し、朝廷の側近の立場にあった事に気づき、あわてて鬼退治の話を作らせて地元にひろめたのであろうと解釈しています。

## 4 「昔の暮らし体験教室 in 博物館」アンケートより

### <小学3年生>

- ・着物がきれいなと思わなかったからうれしかったです。めんこ、羽根つき、ビー玉、おはじき、こま、さかさごまがあって楽しかった。
- ・昔のあそびがたくさんたいけんできてたのしかったです。特に羽子板がたのしかったです。

- ・だるまおとしや昔の遊びが楽しかった。知らないどうぐもいっぱいあった。
- ・みたことない古い物もあるし、うちにも井戸があったりするから調べてみたいなあと思いました。
- ・学校で習った事以外の事を知れてよかったし、クイズ、色々な体験などができてよかったし、学校の時以外の体験ができてよかったです。本当に楽しかったです。ありがとうございました。
- ・すりばち（石臼の間違いと思われる）の仕組みが知れて良かったです。羽子板が最高12回もできて良かったです。きものを着て動くのは大変なんだと思いました。また来たいです。さわったり、見たりといろいろ楽しかったです。かんおけに入った時、こわかったけれど楽しかったです。火おこしが大変で、なかなかつかないけれどたいけんできて良かったです。

### <保護者>

- ・常設展示クイズに取り組みながらまわることで展示をよく見ることができてよかった。安曇野市の中でも少し地域がちがうだけで見たこともない風習が残っていることを知ることができてよかった。穂高神社の近所のため、おふね祭りは穂高神社だけかと思っていましたが、こんなにたくさんの神社でおふね祭りを持っていることを知ってびっくりしました。道祖神祭りなど最近まで自然に受け継がれていたお祭りが、コロナの影響で途絶えかけていることに危機感を覚えました。
- ・様々な道具や行事の展示を見て学べて、楽しめました。遊びも、今の子には新鮮のようでした。なにをするにも、てまひまがかかる暮らしぶりに今の時代の便利さ、ありがたさを痛感しました。職員の方々の丁寧な対応がすばらしく、よい時を過ごせました。
- ・五衛門風呂に入れたことが楽しかったようです。私たち親からみれば当たり前に見ていた道具も、子どもたちは見たことがないということが増えてくるのだと気づき、道具や生活の様子を後世に残していくことは大切だなと思いました。分の親世代からも話を聞いてみようと思いました。
- ・ゆっくり、時間をかけて体験できたので、とてもいい時間を過ごすことができて良かったです。今とは違う道具とか実際に見て触って体感できるのがとても楽しかったようで、また来たいと言っていました。館内を丁寧に案内して下さって、とても充実した時間を過ごせました。昔の遊びもとても楽しかったです。
- ・数年前から地域の祭りに「引き手」として参加するようになり、興味をもったオフネや祭りに関わる安曇野の様々について写真と解説でとても学ばせていただきました。思ったよりもたくさんの資料があることを知り、次の企画展にも子どもと来てみたいと思いました。
- ・たくさん体験できる物があり、大人も子どもも楽しめました。石臼でのきなこ作りや火打ち石など、なかなか体験できるものではないので、今回参加させてもらえて良かったです。昔の暮らしを知ることによって今の便利さを改めて知ることができ、又昔のゆったりとした生活もいいなと思いました。地域の祭りや歴史にもふれることができて良かったです。ぜひまた次の企画展にも参加したいです。3才の娘は（木の家）を気に入ったそうです。羽子板やめんこなども遊べておもしろかったです。
- ・昭和という自分の生まれた少し前の時間を今の子どもと楽しめて良かったです。めんこなど、言葉では伝えられない物を体験することは良いことと思いました。

## 5 今後やってほしい展示・活動

- ・大正～昭和初期のあづみの ・おし花 ・いろいろなすごろく ・真々部の歴史 ・仏像、石仏
- ・安曇野の人と水の関わりの歴史 ・安曇野の偉人 ・安曇野の古代（縄文～）の歴史 ・八面大王や龍の子太郎 ・安曇野の昔の食生活 ・豊科と戦国、豊科の地方名望家 ・安曇野市の神社関係

- ・ダイヤル式の電話 ・宗教（寺社）、城、館 ・庄屋 ・墓場巡りの企画 ・安曇野の歴史ルーツ
- ・立体地図 ・市の歴史 ・泉小太郎 ・道祖神 ・安曇野の地質、歴史、動植物、美術、工芸
- ・安曇族 ・有明神社 ・松本地域は全国の中でも最も激しい廃仏毀釈があった所といわれているので、失われてしまった寺、仏具のことや神仏習合時の今とは異なった神社の姿 ・長野県の地方豪族 ・室町―戦国末期の郷土の活躍 ・戦国時代の戦や城 ・「豊科の宝」の展示 ・明科廃寺関係 ・治水の歴史 ・人身御供 ・平安時代の展覧会（清少納言） ・安曇野の古墳、古墳時代、猪鹿牧 ・穂高自動車学校の歴史展 ・安曇族や大和朝との関わり、諏訪と安曇の関わり ・三郷や堀金などの歴史 ・地元の神社の研究、温泉場の研究 ・小笠原氏の統治時代の安曇野 ・ふるさとに関する民話

## X 博物館のこれから

常設展の内容は、5年間ほとんど変わっていない。博物館が主体となる企画展も年2回、講座やワークショップも、新型コロナウイルス感染症対策で縮小もあったが、継続して実施してきている。とりわけ力を入れていこうとするのは、学校との連携。総合的な学習など、様々な活動に職員は加わっている。

今年度は、「昔の暮らし体験教室 in 博物館」を開催した。

学校に出かけていって、小学生に昔の暮らしを道具を使って体験してもらい取り組みは好評で、何年も前から実施していた。ところがこの2年、コロナ感染症対策で中止となってしまい、子どもたちには以前に実施した暮らし体験を撮影した動画を見てもらうことで、体験学習の代わりとした。

実は、博物館内では、以前からクラスという単位ではなく、学芸員のペースで子どもたちに体験してもらうことが夢でもあった。そこで昨年度は「昔の暮らし体験教室 in 博物館」を計画したが、コロナ感染症対策で中止となった。今年もコロナ感染者が増えたり減ったりであったが、そのまま実施することとした。

当日は、心配をしていたが出足も良く、多くの親子が来館してくれた。大豆を使った石臼体験をはじめ、着物体験など学校でも実施するメニューに、めんこやビー玉などの遊びも加えた。親の世代は、30代から40代、もっとも博物館になじみが薄い。その親たちが、子どもたちと一緒にの石臼の体験、おしゃべりをしながらの展示物の見学、大声を出しての羽根つき、いつもと違う博物館の雰囲気であった。

博物館は、60才以上の方々の利用者や来館者が多い。多くある友の会の構成者も同じである。顔なじみも多いし、館長に気軽に声をかけてくれる。活動にも積極的である。それに加えて子どもたちの利用も増えている。多くの世代に利用される博物館、それが一つの願いである。

## 安曇野市豊科郷土博物館

〒399-8205 長野県安曇野市豊科 4289 番地 8  
TEL 0263-72-5672 FAX 0263-72-7772

公式サイト

<http://www.city.azumino.nagano.jp/site/museum/>

発行 令和4年9月30日